

火災予防上必要な業務に関する計画（作成例）

第1 目的と適用範囲

この計画は、 催し名称 における火災等の災害の予防と人命の安全及び被害の軽減を図ることを目的とする。本計画については、当該催しの主催者及び催しの運営に関係する全ての者並びに露店等の関係者に適用する。

第2 主催者の責務

当該催しの主催者 実行委員会名等 は、管理・監督的立場にあり、かつ、防火管理業務を適切に遂行できる者を防火担当者として選任し、火災予防上必要な業務に関する計画を作成させるとともに、当該計画に基づく防火管理業務を行わせなければならない。

第3 防火担当者の選任及び責務

当該催しの防火担当者は 氏名 とする。

防火担当者は催しにおける防火管理業務についての全ての権限を有し、火災予防上必要な業務に関する計画の作成及び当該計画に基づく業務を実施しなければならない。

第4 催し開催における事前確認

- 1 防火担当者は、催しにおける火災予防対策について露店等の関係者と協議するものとする。
- 2 防火担当者は、次に掲げる事項について露店等の関係者に確認等を実施し、必要に応じて火災予防上必要な指示を行うものとする。
 - (1) 対象火気器具及び携帯発電機（以下「対象火気器具等」という。）並びに危険物を使用する露店等の位置及び数並びに対象火気器具等に対する消火器の準備状況
 - (2) 対象火気器具等及び危険物と客席等（露店等の側方及び後方における客溜りスペースを含む。以下同じ。）との火災予防上安全な離隔距離
 - (3) 携帯発電機を使用する場合において、やむを得ず燃料補給が必要なことが考えられる場合の、可燃性蒸気が滞留するおそれがなく、対象火気器具等と客席等との離隔距離を考慮した燃料補給場所
 - (4) 直射日光や火気等の近くを避け、温度が著しく上昇しない場所への危険物容器の保管場所
- 3 防火担当者は、露店等の関係者に「露店等、消火器配置及び避難誘導経路図」【別紙1】を作成させ、催しにおける火災予防上必要な事項を確認するものとする。
- 4 防火担当者は、「屋外イベントに係る防火安全対策チェック表」【別紙2】を露店等の関係者へ配布し、自主的な火災予防対策の周知を図るものとする。

第5 催し当日における安全対策

- 1 防火担当者は、事前に提出された対象火気器具等及び危険物の情報と当日の状況を巡回し、確認するものとする。
- 2 防火担当者は、次に掲げる事項について露店等の関係者に対し、必要に応じて火災予防上必要な指示を行うものとする。
 - (1) 準備した消火器の種類及び腐食状況の確認
 - (2) 給油その他の事由で、露店等関係者が対象火気器具等を使用した状態でその場を離れない旨の周知
 - (3) 火災が発生した場合の隣接する露店等における協力した初期消火体制の構築
 - (4) その他火災予防上必要な事項

第6 火災発生時の消火・通報・避難誘導體制

- 1 火災発生時の初期消火については、催しの運営に関係する者及び露店等の関係者が協力して実施するものとする。
- 2 火災発生時の対応のため、催しの主催者及び催しの運営に関係する全ての者並びに露店等の関係者合同で自衛消防隊を編成するものとし、「自衛消防隊の編成」【別表1】及び「自衛消防隊の編成及び各班の任務」【別表2】に基づき対応するものとする。
- 3 自衛消防隊の地区隊は、各会場若しくは一定の面積又は露店等数により区分した部分毎に編成するものとし、各隊の活動範囲を催し全体図及び「露店等、消火器配置及び避難誘導経路図」【別紙1】に表記する。

第7 関係機関への連絡

- 1 防火担当者は、消防との事前協議担当者を定め事前に協議するものとする。

消防担当者 [氏名]
- 2 防火担当者は、警察との事前協議担当者を定め事前に協議するものとする。

警察担当者 [氏名]
- 3 防火担当者は、警備会社との事前協議者を定め事前に協議するものとする。

警備担当者 [氏名]
- 4 連絡先一覧

主催者	[TEL :]
防火担当者	[TEL :]
露店等関係者代表	[TEL :]
消防機関	[TEL :]
警察機関	[TEL :]
警備会社	[TEL :]
その他	[TEL :]

第8 露店等に係る情報

対象火気器具等を使用する露店等に関する情報については、以下のとおり。

開設場所	「露店等、消火器配置図及び避難誘導経路図」【別紙1】のとおり。
開設店数	本催しに出店する露店等（露店等の合計数） ●●店 （1）対象火気器具等を使用する露店等 ●●店 （2）上記以外の露店等 ●●店
発電機数	●●台
消火器の設置本数	●●本
使用燃料	<input type="checkbox"/> 液体（ガソリン、灯油、軽油、その他） <input type="checkbox"/> 固体（木炭、練炭、薪、その他） <input type="checkbox"/> 気体（プロパンガス、都市ガス、アセチレンガス、その他） <input type="checkbox"/> その他（電気等）

第9 その他の対象火気器具等の情報

露店等以外において使用する対象火気器具等の情報については、以下のとおり。

発電機数	●●台
その他の対象火気器具等 （ストーブ等）	●●台
消火器の設置本数	●●本

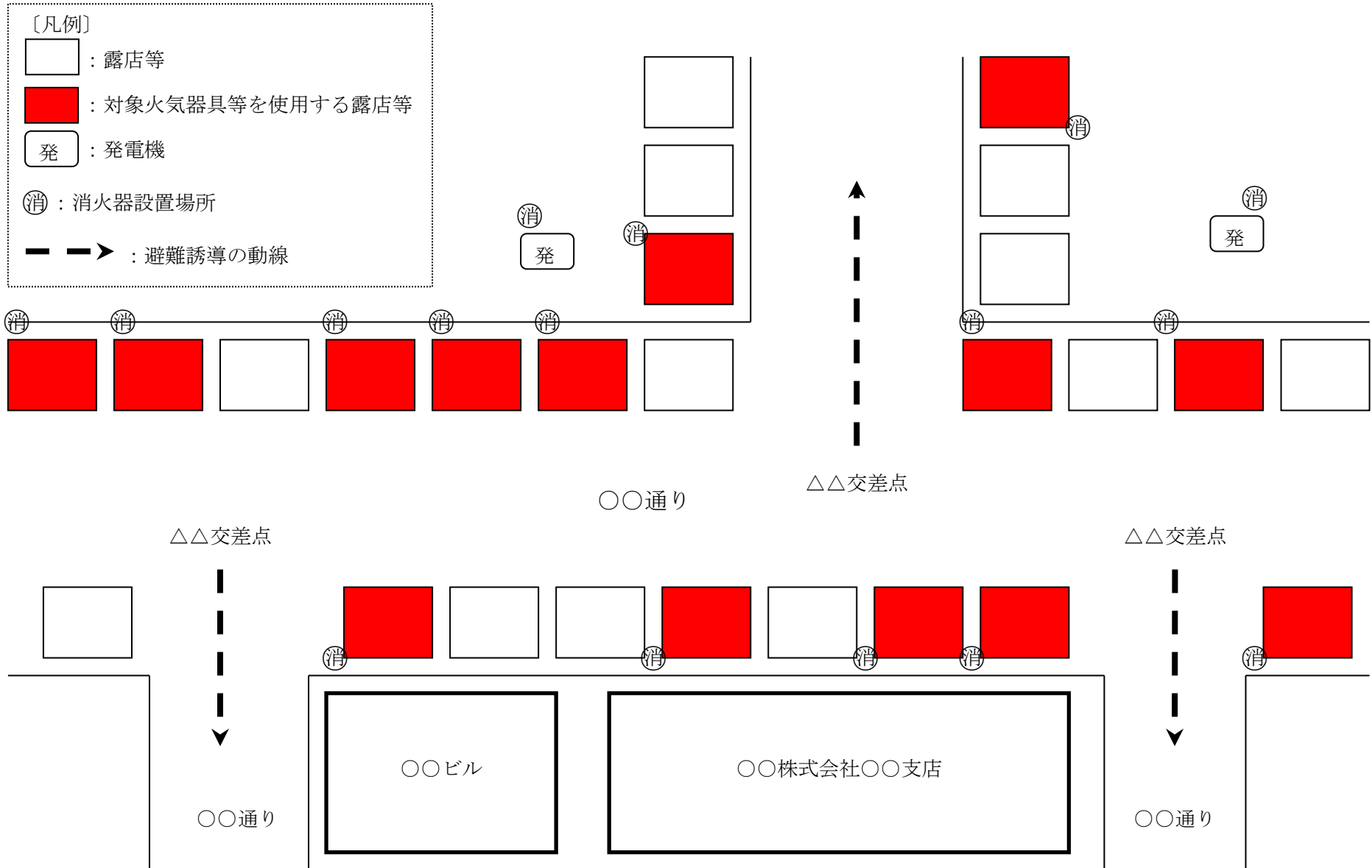
第10 その他

実行委員会は、この計画に変更が生じた場合は、関係機関と再協議を行うとともに、情報の共有を図るものとする。

附 則

この計画は、催し開催期間中の 年 月 日から 年 月 日までの間、適用する。

露店等、消火器配置及び避難誘導経路図（その1 ●●会場）



屋外イベントに係る防火安全対策チェック表

屋外でのイベントにおいて、露店等で火気使用器具を使用する場合は、火災予防に十分注意を払ってください。

下記の内容をチェックして確認してください。

コンロ関係

- 不燃性の台上で使用し、周囲は常に整理及び清掃に努める。
- コンロの上方1 m、周囲15 cm以内に可燃物を置かない。
- 振動・衝撃で容易に転倒し、落下するおそれのないよう据え付けること。
- カセットコンロを使用する場合は2台以上並べて使用しない。また、カセットボンベ容器カバーを覆うような大きな調理器具を使用しない。
- 使用中はその場を離れない。

プロパンガス関係

- ホースは適当な長さで、ひび割れ、溶融等劣化のない専用のものを使用する。
- ボンベは直射日光を避け、風通しの良い場所に置く。
- コンロとホースの接続部にはホースバンドを用いて確実に接続する。
- 使用しないガス栓にはキャップを付ける。
- 使用後は器具栓だけでなく元栓も閉じる。
- ボンベは水平な場所又は台の上に置き、鎖等で固定するなど、転倒しないような措置を講じる。

発電機関係

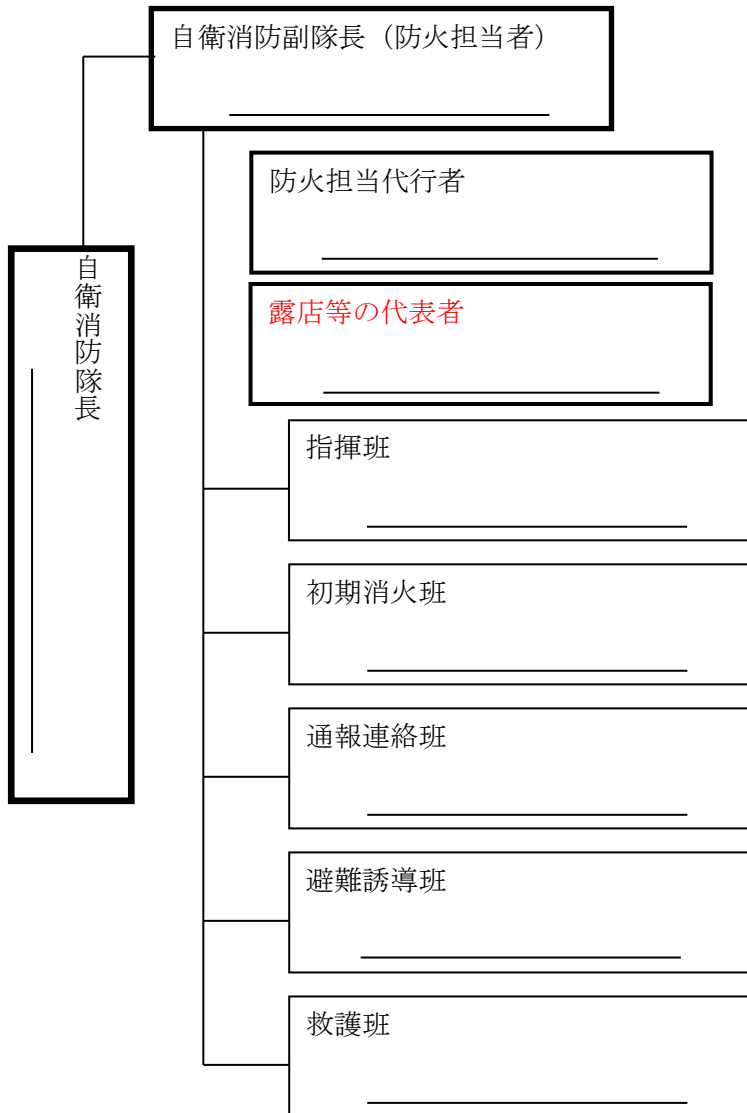
- 長時間使用する場合は適時エンジンを停止するなど、過熱に注意する。
- ※ 原則として送電電源を使用する。やむを得ず電源に携帯発電機を使用する場合は、下記事項に留意すること。
- 燃料の給油は使用開始前に行う。また、やむを得ず途中で燃料補給する場合は必ずエンジンを止め、エンジンが十分に冷却していることを確認して安全な場所で給油する。
- ガソリン燃料を給油する際、携行缶のキャップを開けた時に燃料が吹き出すことがあるため火気のない場所で携行缶のガス抜き栓をゆっくり開けてガス抜きを行う。
- 給油後、燃料漏れのないことを確認してから始動する。
- 予備の燃料は消防法令に適合した携行缶等の金属缶に入れ、火気及び観客等から十分に離し、直射日光を避けて風通しのよい場所で保管する。

消火器関係

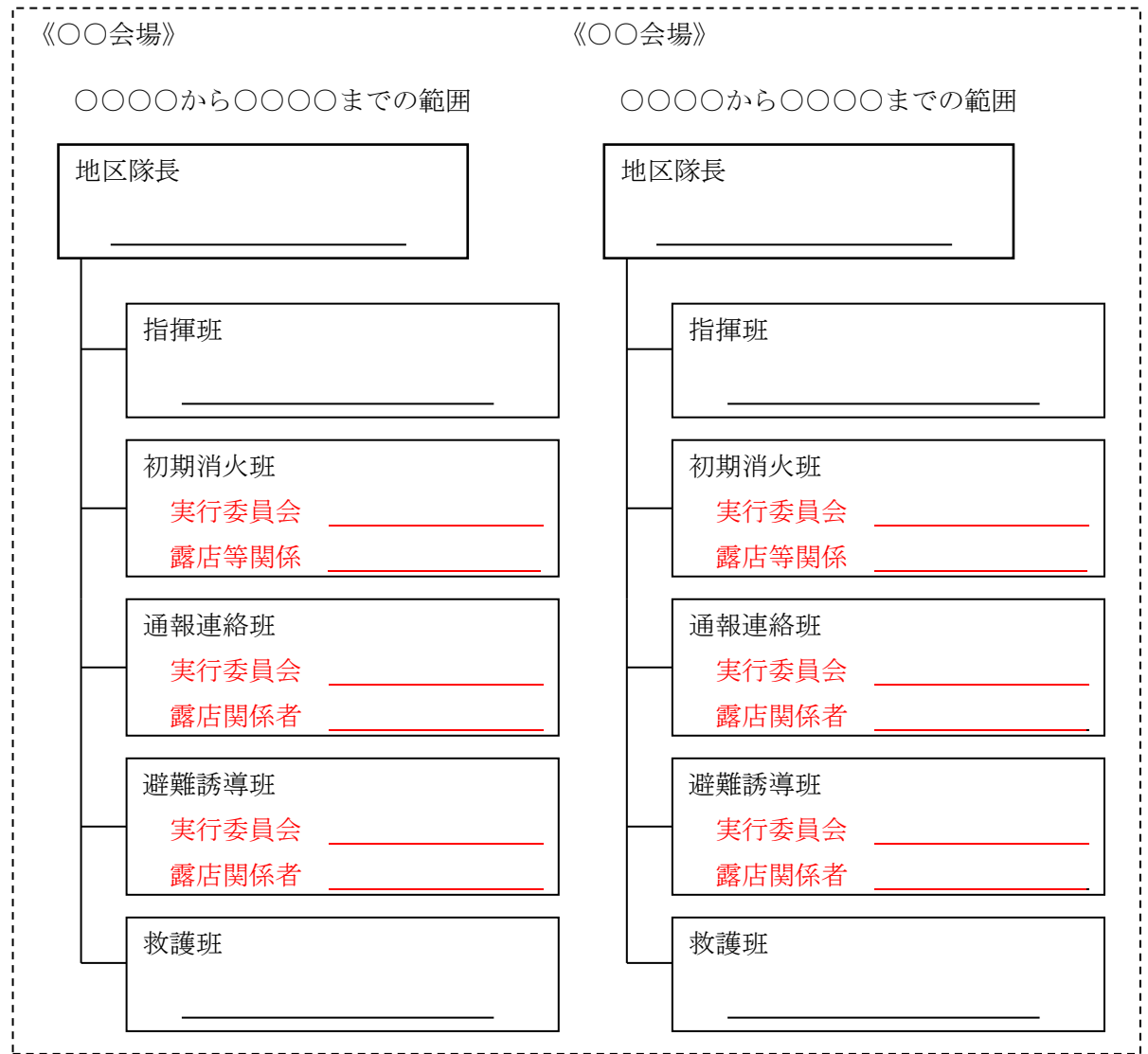
- 業務用消火器を設置し、火気器具から離れた直射日光の当たらない場所に準備する。
- 腐食劣化、製造年月日及び耐用年数等を確認し、安全に使用できるものであるか確認する。
- 確実に操作できるよう、取扱い訓練を行う。

自衛消防隊の編成

<本部隊>



<地区隊>



※ 各班の氏名欄には班長となる者の氏名を記入する。

自衛消防隊の編成及び各班の任務（本部隊）

自衛消防隊長 役職名（主催者・会長等）	（ 氏 名 ）
自衛消防副隊長 役職名（防火担当者）	（ 氏 名 ）
防火担当代行者	（ 氏 名 ） 露店等の代表者（ 氏 名 ）

《本部隊》

各班の編成		各班の任務
指揮班	班長（ 氏 名 ） 班員（ 氏 名 ） （ 氏 名 ）	1 隊長、副隊長の補佐 2 消火、通報及び避難状況の把握 3 自衛消防隊長の指示、命令の各班への伝達 4 必要資機材の収集、資料の確保及び情報収集等 5 消火、救急、救助活動に係る消防隊への協力及び情報提供 6 地区隊との情報共有及び自衛消防隊長への報告
初期消火班	班長（ 氏 名 ） 班員（ 氏 名 ） （ 氏 名 ）	1 消火器等を活用による露店等の関係者と協力した適切な初期消火の実施 2 消防隊の現場到着時、出火場所、延焼状況、危険物の有無等の情報提供
通報連絡班	班長（ 氏 名 ） 班員（ 氏 名 ） （ 氏 名 ）	1 火災等の発生場所及び災害状況の消防機関への通報 2 通報状況の自衛消防隊長への報告及び放送設備等を活用した来場者への周知 3 消防隊の現場到着時、逃げ遅れの有無等の情報提供及び出火場所への誘導
避難誘導班	班長（ 氏 名 ） 班員（ 氏 名 ） （ 氏 名 ）	1 携帯用拡声器、懐中電灯等を活用した来場者の避難誘導 2 来場者の避難状況の自衛消防隊長への報告及び消防隊への情報提供 3 必要に応じてロープ等を使用した警戒区域の設定
救護班	班長（ 氏 名 ） 班員（ 氏 名 ） （ 氏 名 ）	1 消防隊の活動等に支障のない安全な場所への救護所の設置 2 負傷者等の応急手当 3 負傷者等情報の自衛消防隊長への報告及び消防隊への情報提供

※ 催し当日における本計画の履行状況確認者は、現地確認後、防火担当者へ報告を行うものとする。

自衛消防隊の編成及び各班の任務（地区隊）

《〇〇会場》

各班の編成		各班の任務
地区隊長	(氏 名)	1 地区隊が受け持つ区域の統括 2 本部隊への情報提供
指揮班	班長 (氏 名) 班員 (氏 名) (氏 名)	1 隊長、副隊長の補佐 2 消火、通報及び避難状況の把握 3 自衛消防隊長の指示、命令の各班への伝達 4 必要資機材の収集、資料の確保及び情報収集等 5 消火、救急、救助活動に係る消防隊への協力及び情報提供
初期消火班	実行委員会	露店等関係者
	班長 (氏 名) 班員 (氏 名) 班員 (氏 名)	班長 (氏 名) 班員 (氏 名) 班員 (氏 名)
	1 消火器等を活用し、露店等の関係者と協力して適切な初期消火の実施 2 消防隊の現場到着時、出火場所、延焼状況、危険物の有無等の情報提供	
通報連絡班	実行委員会	露店等関係者
	班長 (氏 名) 班員 (氏 名) 班員 (氏 名)	班長 (氏 名) 班員 (氏 名) 班員 (氏 名)
	1 火災等の発生場所及び災害状況の消防機関への通報 2 通報状況の自衛消防隊長への報告及び放送設備等を活用した来場者への周知 3 消防隊の現場到着時、逃げ遅れの有無等の情報提供及び出火場所への誘導	
避難誘導班	実行委員会	露店等関係者
	班長 (氏 名) 班員 (氏 名) 班員 (氏 名)	班長 (氏 名) 班員 (氏 名) 班員 (氏 名)
	1 携帯用拡声器、懐中電灯等を活用した来場者の避難誘導 2 来場者の避難状況の自衛消防隊長への報告及び消防隊への情報提供 3 必要に応じてロープ等を使用した警戒区域の設定	
救護班	班長 (氏 名) 班員 (氏 名) (氏 名)	1 消防隊の活動等に支障のない安全な場所への救護所の設置 2 負傷者等の応急手当 3 負傷者等情報の自衛消防隊長への報告及び消防隊への情報提供

※ 催し当日における本計画の履行状況確認者は、現地確認後、防火担当者へ報告を行うものとする。